

## 「個」の視点から教育を再考する

### ー子どもと教師の接面を探るー

共生社会の実現、多文化共生、ダイバーシティの推進など、多様性が尊重される社会の実現は、我が国における一つの大きな課題となっています。多様性の尊重はマイノリティや社会的弱者といった一部の人々に関する問題としてクローズアップされがちですが、そもそも、私たちはみなそれぞれがユニークな存在であり、多様性を彩る一員です。つまり、多様性が尊重される社会とは、全ての人があるがままに生きることが大切にされる社会に他なりません。そうした意味でのインクルーシブな社会の実現には、全ての子どもがあるがままの存在として生き、育つことのできる教育の取り組みが不可欠です。この困難な課題に立ち向かうため、実践研究福井ラウンドテーブル 2021SpringSessions において「ZoneF インクルーシブ教育」は立ち上がりました。そして、実践研究福井ラウンドテーブル 2021SummerSessions 以降は、『ZoneA 学校』とのコラボレーションによって、多様な背景や困り感を持つ子どもも含めたすべての子どもが、あるがままの存在として生き、育つことのできる学校教育の在り方を探究してきました。その中で、一人ひとりの子どもに寄り添うこと、子どもの視点から学校の当たり前を問い直すことの重要性を再確認してきました。

多くの子ども達が共に学ぶ学校の中で、一人ひとりの子どもの思いを深く共有するのは容易なことではありません。しかし、一人ひとりの子どもに寄り添うためには、そして子どもの視点から学校や社会の当たり前を問い直すためには、一人ひとりの子どもの世界を知ろうとするまなざしを持つことが不可欠です。そこで今回の実践研究福井ラウンドテーブル 2024SpringSessions では、個別具体的な子どもの姿の共有を通じて、子どもの世界をより深く知ろうとする営みとその意義について、参加者のみなさまと共に探究していきたいと思えます。

#### ○当日の予定 会場：アカデミーホール

オリエンテーション	14:30-14:40	
話題提供Ⅰ	14:40-15:05	福井県立嶺北特別支援学校 教諭 桑島康郎
話題提供Ⅱ	15:05-15:30	福井大学教育学部附属幼稚園 教諭 上田晴之
指定討論	15:30-15:45	福井大学 南雲敏秀
全体討議	15:45-16:00	
<休憩>	16:00-16:20	
クロスセッション	16:20-17:40	前半の議論に基づき、校種等をクロスした小グループ形式で参加者の思いや実践を共有します。